

子どもの視点でみつめる 戦争と平和

昭和の時代を知らない子どもたちは、戦争と平和についてどのように感じているのでしょうか。未来を担う小中学生たちの言葉を通して、平和の尊さを改めて考えます。

原爆ドームを訪れたとき、母から「被爆した人が川に飛び込んで亡くなった」と聞き、その悲惨さに心が大きく揺さぶられました。私が思う平和とは、差別や偏見がない世界です。日本は今、戦争をしていませんが犯罪はあり、本当の意味での平和とは言えないと感じています。さらに世界では今も戦争や紛争が続いています。なぜ話し合いではなく武力に頼ってしまうのか、大人になると何か大切なことを忘れてしまうのかと疑問に思います。だからこそ、中学生の私たちにもできることがあると思います。

私は音楽が好きです。将来は、音楽の力で平和の大切さを伝えていきたいと考えています。音楽には国境も人種も関係なく、人の心を動かす力があるからです。

昨年は薬物防止募金の呼び掛けに参加し、今は探究学習(PBL)で平和をテーマに学んでいます。子どもの声にも世界を動かす力があると信じて、自分にできる活動を続けていきたいです。



昨年、ゆめタウンで行われた薬物乱用防止の国連支援募金に参加。

たくさんの人が死んでしまうのに、なぜ戦争をするのか知りたい。大人になったら、戦争も核もない世界をつくりたい。被爆した人の話を聞いて、平和の大切さを伝えていきたいです。

吉田小学校 5年
高橋 真希さん

今の日本は戦争をしていないから平和だと思うけど、昔どんなことがあったのか、もっと歴史を知りたい。もう戦争が起きないようにみんなも戦争について知ってほしいし、平和記念資料館にもまた行ってみたいです。

美土里小学校 6年
室坂 優助さん

吉田小学校 6年
升田 琉翔さん

どうして死にたくない人がたくさん死ななきゃいけないのかと思った。なんで人をたくさん殺す爆弾を作るのか分からない。みんなが悲しまない社会が当たり前になってほしいです。

みんなが助け合い、優しくできる世界が平和だと思います。相手の気持ちを考えて行動し、誰も怒らなくてすむ社会にしたい。平和について考える集まりがあれば、参加してみたいです。

吉田小学校 3年
奥田 修斗さん

美土里小学校 5年
織田 悠菜さん

平和とは、周りの人のことも考えて、支え合って生きることだと思います。私は地域のごみ拾いをしたことがあります。クラスでも、おかしいと思ったことは、ちゃんと声に出していきたいです。

吉田小学校 3年
須安 茉夢さん

好きなものを買ったり、行きたい場所に行けたりできるのが平和だと思う。思いやりをもって、友達と仲良く過ごしていきたい。今起きている戦争がなぜ始まったのか知りたいです。

本で知る、戦争の記憶

安芸高田市立図書館で読める戦争関連の書籍をご紹介します。子ども向けの優しい本から、当時の安芸高田市の様子が記された資料まで、幅広く取りそろえています。

1 親子で読みたい戦争のおはなし

聞かせて、おじいちゃん

原爆の語り部・森政忠雄さんの決意(児童書)



横田 明子／著 山田 朗／監修
国土社／刊

孫の自由研究をきっかけに、長く閉ざしていた1945年の記憶を語り始めた森政忠雄さん。被爆者としての思いを伝える活動は今も続けられています。

さがしています(絵本)



アーサー・ビナード／作 岡倉 禎志／写真
童心社／刊

8:15で止まった時計、中身の入ったままのお弁当箱など、1945年のあの日を知る遺品たちが、語り部となり持ち主の思いを伝えてくれます。

昭和二十年八さいの日記(絵本)



佐木 隆三／文 黒田 征太郎／絵
石風社／刊

新型爆弾、やけどをした多くの人たちが運ばれてくる学校、ピカドンにやられたのりこおばさん…。高田郡小田村の8歳の少年が体験した戦争の記憶。

市内の図書館情報は
P20に掲載しています。

写真でみる 戦争と被爆

戦争や被爆の実相を伝える写真をパネル展示します。

広島・長崎・ビキニ被災
パネル展

7月25日(金)～8月18日(月)
園クリスタルアージョ
園秘書広報課 秘書広報係
☎お太助フォン42-5627

2 写真や手記でみる、戦時下の暮らし

あの日の記憶は写真の中に

一明治～大正～昭和 安芸高田史一



安芸高田市吉田歴史民俗資料館／刊

古写真で見る安芸高田市の明治から昭和時代。戦局が厳しくなる時期の写真から、当時の暮らしの様子が垣間見えます。

耐えた日々 一吉田地方の戦中、戦後一

吉田町郷土史研究会／編・刊

生活の全てに戦争の影響を受けていた人々の苦労がしのばれる一冊。広島市からたどり着いた被爆者への救護活動の様子も手記の形で記されています。

高田郡医師会史



高田郡医師会／刊

高田郡内の医史とも言うべき資料。被爆者救護の項目では、医療関係者の動向が時系列で記録されています。

戦争中の暮らしの記録



暮らしの手帖編集部／編
暮らしの手帖社／刊

同社が1969年に公募で集めた、さまざまな立場の人による手記や生活記録を掲載。当時の暮らしを間近にしているような気持ちになる一冊。